

投資情報 ウィークリー

2024/01/29 & 02/05

本レポート末尾の「投資にあたっての注意事項」をお読み下さい。



大山日ノ丸証券株式会社

金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第5号 加入協会 日本証券業協会

投資情報ウィークリー

2024年1月29日・2月5日合併号
調査情報部

相場見通し

■日経平均が一時 37000 円台に迫る

米金融市場は 2024 年に入って激変。昨年 10 月末に一時 5% 台に上昇した米 10 年債利回りだが、パウエル FRG 議長のハト派的発言などから早期の利下げ期待が一段と強まり、昨年終盤には 3.7% 台まで急低下した。しかし、年明けから急反転、足元では 4.2% 台に迫っている。その要因として、①昨年 12 月に開催された FOMC の議事要旨の内容やウォーラー理事の発言などから、FRB は市場の利下げ期待を牽制しているように見えた点、②米景気が想定以上に底堅い点にある。昨年末には 1 ドル 140 円割れ寸前だったドル円も年初から転換、19 日には一時 1 ドル 148 円台まで円安が進行した。

日経平均は、日銀政策決定会合開催日の 23 日に一時 37000 円の大台に迫る勢い（引けは 29 円安）をみせた。年初来（～23 日）の日経平均は 9.12% 上昇、S&P500 が +1.99%、ナスダック総合が +2.76%、独 DAX が ▲0.74% と比べると日経平均の好パフォーマンスが際立っている。尤も、昨年 11 月から今月 23 日までの約 3 か月間の騰落率では、日経平均が +18.34%、S&P500 が +16%、ナスダック総合が +20.03% と大差ない。年初来の日本株急上昇は、円安転換が追い風となった他、米国株にキャッチアップした動きとも言えそうだ（次頁図 1、2 を参照）。そう考えれば、年初来の日本株上昇に違和感がなく、1 月 25 日現在の予想 PER が 15.91 倍、PBR が 1.41 倍と未だ割高感が乏しい日経平均が今後一段高するとの期待を持ってそうだ。

■日銀政策決定会合

22～23 日の日銀政策決定会合では、大規模な金融緩和策の継続を全員一致で決定した。ただ、23 日公表の「展望レポート」では、「物価安定の目標」は「少しずつ高まっている」との文言が加わった他、植田総裁は、マイナス金利を含めた大規模金融緩和策の継続の是非を検討していくと述べており、「マイナス金利の解除は 3 月または 4 月の会合」が市場のメインシナリオになった。尤も、マイナス金利を解除しても「極めて緩和的な金融緩和環境が続く」と総裁は述べ、またその後の連続的な利上げを否定したものとなった。

■今、来週の日本株見通し

先週末は、日経平均が 36000 円の大台を割り込んだ他、インテルの失望決算などから半導体関連が売られた。今週の日本株は、その地合いを週前半は引き継ぐ可能性がある他、利益確定売りやリバランスに伴う売りが出やすいとみられる。また、FOMC や米中などの景気指標、決算発表など材料も多く、やや値動きの激しい相場が想定されるが、出遅れた投資家の待機資金は多いとみられ、個別銘柄の押し目を狙うバーベル戦略が有効とみている。

今週から 3 月期決算企業の第 3 四半期、12 月期決算企業の本決算発表が本格化する（3 ページ以降を参照）。東証プライム上場の 24/3 月期の純利益（現時点の予想）は 3 期連続で過去最高となる見通しだが、日銀の政策変更、それに伴う金利、為替の動きや中国景気など外部環境の不透明感から、市場の期待値は足元で下がりつつある。尤も、半導体を始めとしたエレクトロニクス製品の在庫調整の進展や原材料コストの低下、価格転嫁の流れ、インバウンド効果と円安傾向などから、会社計画を上方修正する企業が増えてきそうだ。増配や自社株買いの発表にも期待したい。焦点は次年度（24 年度）の企業業績の方向性で、中国の景気対策、米国の消費堅調に加え、もう一つのヒントは 30 日に IMF が発表する世界経済見通しであろう。

先のダボス会議では、インフレの収束に伴い 2024 年の世界景気に対する楽観的な見方が多かつ

た印象で、IMF の見方が注目される。インドやベトナムの高成長が期待される他、米景気は底堅い（10～12 月期の実質 GDP は年率 3.3%成長）一方、中国などが厳しく（但し、2 月 5 日から預金準備率の 0.5 ポイント引き下げを発表した他、株価のテコ入れ策を相次いで発表）、国・地域間での格差がより大きくなりそう。なお、政府は 1 月の月例経済報告で、国内景気の判断を 3 ヶ月連続で「このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している」と総括した。能登半島地震の影響や世界の政治情勢などがリスクも、日本経済は緩やかな回復が続くと想定しており、IMF の日本経済見通しが改めて注目される。

東証の要請（資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応：昨年 12 月時点）に応じていない「記載なし」企業や、「検討中」企業が、この決算シーズンに新たな公表を行うかどうかポイント。3 月期企業は本決算時（4 月末以降）の公表が多いと考えているが・・・。

需給面では、海外投資家が 3 週連続の買い越し（1 月第 3 週の現物株は約 3800 億円の買い越し）だった一方、個人投資家、投資信託など国内勢は売り越しだったが、今後、相場全体が調整すれば個人など国内勢の押し目買いが期待されよう。

■米国株の今、来週の見通し

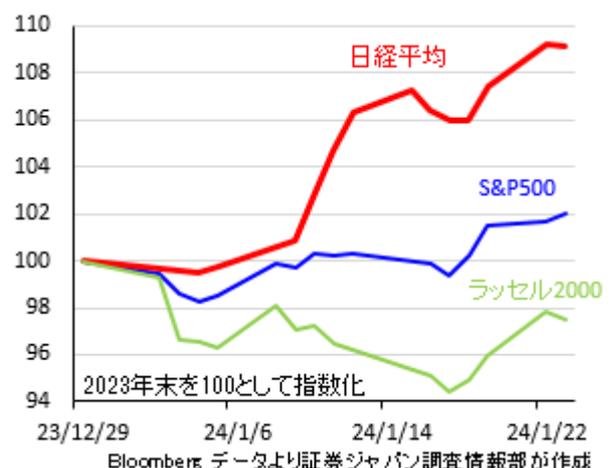
18 日の TSMC の好決算などを契機に、エヌビディアなどの生成 AI、半導体関連株に再び買いが入り、S&P500 は過去最高値を更新、NY ダウは初の 38000 ドル乗せとなった。尤も、指数を上げたのは大型ハイテク、半導体関連株で、また、業種別では、情報技術、通信サービス、ヘルスケア以外は年初から冴えない動きである他、昨年 11 月初めから昨年末まで急回復したラッセル 2000 も年初から反落気味（図 2 を参照）で、今に始まったことではないとはいえ、物色に偏りがみられる。なお、S&P500 の予想 PER（24 年度ベース）は 22 倍程度とやや割高感にある水準。市場では、人気銘柄の業績拡大期待がより高まっている中で、決算発表がこれから本格化するため、個別銘柄の値動きが激しくなる可能性や、依然として FRB による早期かつ大幅な利下げ期待も市場で強いだけに、30～31 日の FOMC 及び FRB 議長の発言などには注意したい。ただ、生成 AI の成長、半導体の本格回復はこれからと考えており、押し目があれば投資好機と判断している。

（増田 克実）

図.1



図.2



主な決算発表予定（3月期決算）①

銘柄	発表日	予想営業利益		予想税引利益		予想営業利益		予想税引利益	
		3Q	QC予想	今期	QC予想	今期	日経予想		
4204 積水化	24/01/30	25,800	13,550	99,000	77,500	100,000		75,000	
1878 大東建	24/01/30	27,348	18,446	105,733	78,630	103,000		73,000	
9532 大ガス	24/01/30	22,250	15,950	144,225	123,400	139,500		116,000	
6701 NEC	24/01/30	42,722	28,153	191,910	122,830	220,000		140,000	
9022 JR東海	24/01/30	166,804	100,921	529,607	324,072	502,000		308,000	
6301 コマツ	24/01/30	143,500	85,950	575,733	369,944	548,000		340,000	
4661 OLC	24/01/30	57,895	41,466	161,451	115,055	146,709		105,180	
5332 TOTO	24/01/31	15,877	10,849	45,970	38,233	47,000		39,000	
6967 新光電工	24/01/31	11,417	8,667	37,400	27,611	35,000		24,000	
3231 野村不HD	24/01/31	11,464	6,691	107,909	65,803	103,000		65,000	
5334 特殊陶	24/01/31	27,750	18,000	109,586	81,334	110,000		81,000	
2875 東洋水	24/01/31	16,627	12,562	58,314	48,000	52,000		43,000	
9719 SCSK	24/01/31	14,173	9,816	57,690	40,383	56,500		39,500	
3092 ZOZO	24/01/31	18,308	13,059	60,564	42,514	60,000		42,000	
6504 富士電機	24/01/31	19,015	12,109	99,967	68,252	96,000		64,500	
6586 マキタ	24/01/31	13,500	9,267	56,362	37,946	55,000		33,300	
9501 東電HD	24/01/31			257,200	330,350	175,000		253,000	
4528 小野薬	24/01/31	29,800	21,700	173,283	131,281	167,000		126,000	
9502 中部電	24/01/31	19,350	22,000	284,100	345,260	300,000		330,000	
7735 スクリン	24/01/31	24,400	16,768	90,258	62,826	87,500		60,000	
9021 JR西日本	24/01/31	48,036	25,857	148,425	85,459	140,000		80,000	
9697 カブコン	24/01/31	13,435	10,068	58,919	42,880	56,000		40,000	
9202 ANAHD	24/01/31	44,719	24,794	168,533	101,889	140,000		80,000	
2413 エムスリー	24/01/31	23,786	16,155	76,789	52,441	75,000		50,000	
8308 りそなHD	24/01/31		31,170		152,125			150,000	
9503 関西電	24/01/31			529,025	348,375	530,000		290,000	
9104 商船三井	24/01/31			104,300	229,900	90,000		220,000	
8309 三井住友トラ	24/01/31		15,536		114,325			85,000	
4507 塩野義	24/01/31	8,750	1,750	155,250	156,960	150,000		155,000	
8604 野村	24/01/31		42,250		141,950			120,000	
4307 野村総研	24/01/31	31,893	22,079	122,608	82,346	120,000		80,000	
6762 TDK	24/01/31	58,900	44,225	167,027	118,333	150,000		105,000	
9020 JR東日本	24/01/31	72,301	44,923	279,175	145,899	270,000		137,000	
6702 富士通	24/01/31	75,756	53,701	298,469	203,525	320,000		208,000	
6857 アドテスト	24/01/31	22,186	17,078	84,759	63,653	80,000		60,000	
4568 第一三共	24/01/31	48,735	40,218	168,921	145,769	150,000		135,000	
6501 日立	24/01/31	174,148	131,780	739,307	552,310	720,000		520,000	
6963 ローム	24/02/01	11,043	10,718	55,794	58,009	53,000		59,000	
4062 イビデン	24/02/01	13,317	9,350	53,200	36,822	49,000		33,000	
9766 コナミG	24/02/01	22,584	16,533	75,973	54,296	60,000		41,000	
6971 京セラ	24/02/01	32,017	37,650	116,089	120,757	120,000		123,000	
7741 HOYA	24/02/01		41,979		174,848			180,000	
4502 武田	24/02/01	63,300	78,165	260,486	121,267	225,000		93,000	
8316 三井住友FG	24/02/01		228,603		923,792			920,000	

証券ジャパン調査情報部作成。QCはQUICKコンセンサス。単位百万円。空欄はデータなし。

予定が変わることがあります。業績予想は1月23日現在。

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

主な決算発表予定（3月期決算）②

銘柄	発表日	予想営業利益		予想税引利益		予想営業利益		予想税引利益				
		3Q	QC予想	今期	QC予想	今期	QC予想	今期	日経予想			
3099 三越伊勢丹	24/02/02	20,640		18,000		49,544		37,941		48,000		37,000
2768 双日	24/02/02			25,267				98,250				95,000
3626 TIS	24/02/02	17,185		11,212		64,957		42,853		64,500		42,000
6724 エプソン	24/02/02	25,000		19,078		80,480		63,467		80,000		65,000
9201 JAL	24/02/02	30,300		27,356		134,815		92,059		130,000		80,000
6479 ミネベア	24/02/02	26,986		18,733		75,973		57,762		77,000		58,000
9531 東ガス	24/02/02	16,350		9,300		168,440		134,280		154,000		116,000
7259 アイシン	24/02/02	60,020		39,960		217,527		146,867		210,000		140,000
4091 日本酸素HD	24/02/02	36,724		23,253		161,668		97,577		163,000		97,000
9107 川崎汽	24/02/02					95,750		116,075		92,000		105,000
6752 パナHD	24/02/02	103,133		88,652		406,203		431,484		400,000		460,000
8015 豊田通商	24/02/02			82,448		459,200		332,429		410,000		320,000
6201 豊田織	24/02/02	59,881		77,861		220,786		240,157		200,000		225,000
8002 丸紅	24/02/02			107,499		303,953		459,415				450,000
6981 村田製	24/02/02	83,543		60,850		270,392		219,528		270,000		225,000
8411 みずほFG	24/02/02			125,277				644,385				640,000
6902 テンソー	24/02/02	179,800		138,443		629,944		475,531		630,000		470,000
8031 三井物	24/02/02			256,413				961,389				940,000
9433 KDDI	24/02/02	292,762		189,692		1,100,893		696,805		1,080,000		680,000
6861 キーエンス	24/02/02	122,104		88,840		491,067		358,692		534,000		384,000
9684 スクエニHD	24/02/05	13,506		8,985		44,801		35,097		55,000		38,500
4185 JSR	24/02/05	5,650		5,450		20,263		12,969		16,000		8,500
1802 大林組	24/02/05	7,129		4,430		75,685		61,427		74,000		59,000
9064 ヤマトHD	24/02/05	48,968		39,958		64,279		48,875		65,000		52,000
6645 オムロン	24/02/05	9,231		7,000		45,730		20,110		45,000		18,000
5802 住友電	24/02/05	58,396		42,267		198,950		111,207		200,000		110,000
2801 キッコマン	24/02/05	18,597		11,686		63,280		50,270		61,400		50,600
9101 郵船	24/02/05					165,783		224,350		165,000		220,000
4503 アステラス	24/02/05	50,100		32,000		145,474		100,741		123,000		85,000
8053 住友商	24/02/05			147,838				505,200				500,000
6503 三菱電	24/02/05	78,838		61,742		328,042		260,738		330,000		260,000
8001 伊藤忠	24/02/05			207,434		661,536		821,950				800,000
8306 三菱UFJ	24/02/05			245,981				1,389,886				1,300,000
7752 リコー	24/02/06	19,940		13,033		73,913		52,651		70,000		50,000
6841 横河電	24/02/06	15,623		12,700		64,757		52,154		63,000		48,000
7701 島津	24/02/06	17,582		12,849		73,318		55,958		73,000		55,000
4188 三菱ケミG	24/02/06	79,185		46,100		278,989		125,890		295,000		135,000
5411 JFE	24/02/06	74,377		54,055		295,226		196,677		290,000		190,000
4523 エーザイ	24/02/06	2,500		-200		52,130		40,888		51,000		41,500
2802 味の素	24/02/06	54,640		31,593		156,454		100,579		150,000		100,000
7011 三菱重	24/02/06			55,500				199,431				190,000
4689 ラインヤフー	24/02/06	51,681		24,824		206,320		124,823		190,000		98,000
6367 ダイキン	24/02/06	89,880		60,733		414,518		279,664		400,000		264,000
7974 任天堂	24/02/06	186,075		130,374		550,481		463,026		500,000		420,000
8058 三菱商	24/02/06			262,641				977,007				950,000
7203 トヨタ	24/02/06	1,313,271		1,064,743		4,750,535		4,216,860		4,500,000		3,950,000

証券ジャパン調査情報部作成。QCはQUICKコンセンサス。単位百万円。空欄はデータなし。

予定が変わることがあります。業績予想は1月23日現在。

主な決算発表予定（3月期決算）③

銘柄	発表日	予想営業利益	予想税引利益	予想営業利益	予想税引利益	予想営業利益	予想税引利益
		3Q	QC予想	今期	QC予想	今期	日経予想
9001 東武	24/02/07	15,250	10,200	66,100	41,633	65,000	41,000
4183 三井化学	24/02/07	35,918	27,833	95,521	73,129	97,000	76,000
9042 阪急阪神	24/02/07			100,767	65,433	99,700	60,000
3407 旭化成	24/02/07	41,962	26,942	139,267	90,556	140,000	85,000
9613 NTTデータ	24/02/07	75,441	40,000	288,636	138,384	292,000	144,000
7269 スズキ	24/02/07	121,867	75,000	454,087	268,538	430,000	240,000
5401 日本製鉄	24/02/07	152,853	102,233	664,162	428,424	690,000	420,000
8591 オリックス	24/02/07	100,533	90,460	388,088	319,610	380,000	330,000
4543 テルモ	24/02/07	38,330	28,610	139,021	106,418	132,500	101,000
9434 SB	24/02/07	217,623	118,965	829,957	448,717	780,000	420,000
6845 アズビル	24/02/08	8,010	5,720	34,800	26,643	33,700	27,000
1803 清水建	24/02/08	14,378	9,026	53,014	49,517	57,500	50,000
9007 小田急	24/02/08	13,450	7,500	41,800	61,300	45,000	71,000
2269 明治HD	24/02/08	24,900	16,000	81,363	53,088	80,000	51,000
1801 大成建	24/02/08	18,477	12,309	59,700	47,188	64,000	47,000
6383 ダイフク	24/02/08	15,094	10,900	55,023	40,354	54,500	40,500
3402 東レ	24/02/08	34,450	25,250	108,442	70,544	120,000	71,000
5713 住友鋳	24/02/08		11,724		57,136		55,000
9843 ニトリHD	24/02/08	37,825	26,850	130,129	89,759	145,100	100,000
7270 SUBARU	24/02/08	134,343	96,814	443,330	332,508	420,000	320,000
7201 日産自	24/02/08	172,129	80,157	626,300	404,960	620,000	390,000
9735 セコム	24/02/08	37,088	13,865	139,978	96,390	136,800	94,100
4901 富士フイルム	24/02/08	89,171	66,553	291,808	230,014	290,000	225,000
7267 ホンダ	24/02/08	374,200	265,025	1,296,150	1,013,028	1,200,000	930,000
9984 SBG	24/02/08		247,250		11,363		400,000
9432 NTT	24/02/08	555,909	357,722	1,941,523	1,278,933	1,950,000	1,255,000
4527 ロート	24/02/09	14,109	9,710	40,580	30,620	38,500	29,000
5406 神戸鋼	24/02/09	39,950	22,100	161,129	119,600	165,000	120,000
4021 日産化	24/02/09	8,501	5,834	47,900	37,829	48,600	38,400
9005 東急	24/02/09	21,967	13,200	80,500	50,683	85,000	54,000
7261 マツダ	24/02/09	77,217	48,883	271,377	192,381	250,000	170,000
2267 ヤクルト	24/02/09	20,571	17,888	67,905	52,731	67,000	52,000
7550 ゼンショーHD	24/02/09	12,115	8,566	51,000	30,000	51,000	30,000
7912 大日印	24/02/09	18,000		67,125	82,475	67,000	88,000
7202 いすゞ	24/02/09	80,700	48,867	287,540	170,735	280,000	165,000
6869 シスメックス	24/02/09	22,168	15,068	81,699	53,279	83,000	52,000
5020 ENEOS	24/02/09	100,200	80,700	457,200	263,950	420,000	240,000
8830 住友不	24/02/09	59,375	41,626	257,400	176,782	255,000	175,000
8802 菱地所	24/02/09	62,895	35,154	267,842	169,383	264,000	166,000
1925 ハウス	24/02/09	79,646	56,075	395,606	279,061	385,000	263,000
8801 三井不	24/02/09	66,722	40,332	338,182	220,150	335,000	215,000
6098 リクルート	24/02/09	106,166	74,167	393,741	313,216	400,000	300,000
8035 東エレク	24/02/09	107,720	82,376	414,171	316,158	401,000	307,000

証券ジャパン調査情報部作成。QCはQUICKコンセンサス。単位百万円。空欄はデータなし。

予定が変わることがあります。業績予想は1月23日現在。

主な決算発表予定（12月期決算）

銘柄	発表日	今期予想営業利益		今期予想税引利益		来期営業利益	来期税引利益
		日経予想	QC予想	日経予想	QC予想	QC予想	
6866 HIOKI	24/01/25	7,940	8,100	6,080	6,213	8,933	6,730
8060 キヤノンMJ	24/01/29	52,000	52,150	36,000	35,792	55,500	38,487
2491 Vコマース	24/01/30	4,700	5,089	3,200	3,517	5,394	3,724
3003 ヒューリック	24/01/30	143,000	143,424	90,000	90,287	153,357	94,920
4099 四国化HD	24/01/30	7,500	8,150	6,800	7,200	9,600	7,700
7751 キヤノン	24/01/30	400,000	393,289	292,000	287,400	418,725	307,451
2811 カゴメ	24/02/01	16,000	14,806	9,000	9,469	14,363	9,219
4519 中外薬	24/02/01	419,000	436,275	308,000	321,405	459,825	337,591
4768 大塚商会	24/02/01	62,200	64,206	42,700	45,027	71,865	50,385
3064 モノタロウ	24/02/02	32,030	31,329	22,789	22,271	35,486	24,943
5214 日電硝	24/02/05	-5,000	-6,325	-20,000	-20,075	16,675	13,275
6141 DMG森精機	24/02/05	53,000	53,300	33,800	33,250	55,400	34,400
4189 KHネオケム	24/02/06	10,000	9,900	6,900	6,800	11,800	8,100
4722 フューチャー	24/02/06	13,800	14,019	9,660	9,893	16,400	11,585
4151 協和キリン	24/02/07			70,000	74,457		68,491
4452 花王	24/02/07	60,000	64,667	41,000	47,384	141,297	104,638
5201 AGC	24/02/07	150,000	134,477	59,000	56,544	173,337	88,013
8113 ユニチャーム	24/02/07		130,412	80,900	83,939	151,040	97,091
3405 クラレ	24/02/08	78,000	78,311	45,000	45,300	86,811	53,438
3659 ネクソン	24/02/08	141,563	144,029	121,353	121,376	157,256	121,173
6723 ルネサス	24/02/08	393,900	412,884	267,300	318,893	422,327	313,419
7740 タムロン	24/02/08	13,100	13,050	9,990	9,545	13,850	10,000
2429 ワールドHD	24/02/09	9,916	10,500	6,045	6,500	12,000	7,500
3105 日清紡HD	24/02/09	15,000	16,000	-19,000	-18,300	22,000	17,650
4551 鳥居薬	24/02/09	4,500	4,700	3,400	3,410	6,050	4,460
4848 フルキャスト	24/02/09	8,400	8,440	5,735	5,753	10,125	6,895
4911 資生堂	24/02/09	27,000	24,367	18,000	18,543	53,950	34,811
4933 ine	24/02/09	4,300	4,330	3,950	4,040	5,120	2,910
4967 小林製薬	24/02/09	25,500	26,404	20,200	20,471	27,733	21,252
5302 カーボン	24/02/09	5,400	5,400	3,200	3,100	4,700	2,600
6071 IBJ	24/02/09	2,218	2,337	1,494	1,806	2,618	1,741
6440 JUKI	24/02/09	-2,300	-2,600	-4,300	-4,300	2,300	1,200
6464 ツバキナカ	24/02/09	4,500	4,400	1,700	1,950	5,957	3,471
6789 ロランドDG	24/02/09	5,800	5,800	4,800	4,800	6,600	5,200
6929 日セラ	24/02/09	4,800	4,739	3,750	3,973	5,295	4,257
7718 スター精	24/02/09	11,000	11,500	8,400	8,667	11,133	8,200
7936 アシックス	24/02/09	52,000	52,958	27,500	29,622	61,035	37,432
9830 トラスコ中山	24/02/09	17,930	18,567	12,190	12,633	19,800	13,600

証券ジャパン調査情報部作成。QCはQUICKコンセンサス。単位百万円。空欄はデータなし。

予定が変わることがあります。業績予想は1月23日現在。

投資のヒント

☆TOPIX500 採用 3 月決算の主な高配当利回り銘柄群（昨年来高値日付け順）

東証プライム市場の予想加重利回りは、年初以降の株価上昇により昨年 12 月 29 日の 2.26%から 1 月 25 日時点で 2.12%まで低下してきた。一方個別ではプライム市場上場で全体の約 1/3 に相当する 566 銘柄の今期予想配当利回りが依然 3%以上の水準にある。下表には TOPIX500 採用 3 月決算で、予想利回りが 3%以上、株価が週足の 13 週・26 週の両移動平均線の上に位置する主な銘柄群を、昨年来高値を付けた日付けが直近に近い順に掲載した。年初以降に高値を付けた銘柄が多い一方、TOPIX の昨年の高値月である 9 月に高値を付けた銘柄も目立っており、今後の高値更新に期待したい。（野坂 晃一）

表. TOPIX500採用3月決算の主な高配当利回り銘柄群

コード	銘柄	株価(円)	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	配当利回り(%)	予想経常利益伸率(%)	信用倍率 (倍)	5日カイ離率(%)	25日カイ離率(%)	13週カイ離率(%)	26週カイ離率(%)	昨年来高値日付	昨年来高値(円)
5444	大和工	8066	8.1	1.02	3.71	-0.5	38.39	1.65	5.31	6.83	10.24	24/1/25	8081
5711	三菱マ	2712.5	9.3	0.56	3.46	121.3	8.02	2.61	7.17	8.33	10	24/1/25	2712.5
6178	日本郵政	1420.5	19.1	0.46	3.51	-5.7	5.26	1.29	8.27	8.3	14.09	24/1/24	1449.5
9434	SB	1966	22	3.98	4.37	-21.2	6.89	-0.33	7.08	9.03	13.14	24/1/23	1996.5
7202	いすゞ	2063.5	9.4	1.09	4.16	11.2	3.76	0.76	7.68	9.42	11.01	24/1/23	2080.5
8473	SBI	3629	33.3	0.91	4.13	-0.7	8.42	0.43	8.71	10.62	13.87	24/1/23	3647
8630	SOMPO	7530	7.6	1.03	3.98	268.1	0.42	-1.21	5.37	8.54	13.21	24/1/23	7749
2768	双日	3469	8	0.86	3.74	-14.2	8.11	-0.07	4.81	6.8	7.9	24/1/23	3557
8053	住友商	3348	8.1	0.93	3.73	-11.5	5.21	-0.04	4.92	5.57	8.64	24/1/23	3427
8253	クレセゾン	2779	7	0.69	3.59	14.7	1.94	-0.87	5.18	9.95	15.73	24/1/23	2895
1808	長谷工	1906	9.3	1.07	4.19	-6	0.82	-1.87	1.23	2.57	2.71	24/1/17	2018
5334	特殊陶	3936	9.7	1.28	4.06	24.2	3.56	-0.14	9.5	12.43	15.36	24/1/17	4044
8725	MS&AD	6025	11.3	0.88	3.98	73.1	4.53	0.47	6.32	7.12	9.36	24/1/17	6108
5019	出光興産	819.5	6.3	0.64	3.9	-16	14.42	-0.84	2.65	4.78	14.5	24/1/17	861
9104	商船三井	5232	8.6	0.87	3.63	-72.9	2.24	1.04	8.32	18.58	22.54	24/1/17	5422
6113	アマダ	1591.5	13.7	1.02	3.58	14.9	1.23	0.07	4.48	6.04	6.44	24/1/17	1632.5
6436	アマノ	3420	19.6	2.01	3.5	9.1	0.76	-0.76	1.26	4.23	5.51	24/1/12	3518
1951	エクシオG	3247	14.4	1.11	3.69	3.3	1.28	-0.13	2.98	2.97	4.79	23/11/13	3338
4202	ダイセル	1456	7.5	1.19	3.43	25.9	7.57	-0.06	3.14	3.15	10.07	23/11/6	1539.5
8411	みずほFG	2671.5	10.5	0.7	3.74	8.9	12.21	2.11	7.61	6.49	7.06	23/9/22	2724.5
8316	三井住友FG	7645	11	0.73	3.53	-0.1	22.59	2.17	8.04	6.2	7.57	23/9/22	7849
5076	インフロニア	1568.5	14	1.06	3.5	1.8	2.01	0.18	6.65	2.98	3.31	23/9/21	1653
5406	神戸鋼	1973.5	6.4	0.76	4.56	35.7	8.63	-0.62	5.35	9.46	7.97	23/9/20	2179
5401	日本製鉄	3479	7.6	0.69	4.31	-27.3	17.09	0.76	4.85	4.01	3.19	23/9/20	3816
9513	Jパワー	2435	6.6	0.38	3.69	-43.2	41.29	0.3	3.44	4.54	4.48	23/9/20	2604.5
7267	ホンダ	1593.5	8.3	0.62	3.63	58.6	6.11	-0.08	4.91	3.82	1.32	23/9/20	1821
8593	三菱HCキャ	1026	12.2	0.88	3.6	2.7	19.22	0.64	5.26	5.28	5.45	23/9/20	1088
6301	コマツ	3914	10.8	1.29	3.67	6.8	10.07	-0.8	2.83	4.42	0.6	23/9/19	4511
4502	武田	4340	73.2	0.96	4.33	-81.3	12.38	-0.63	3.1	3.9	0.19	23/9/15	4873
8252	丸井G	2494	19.5	1.85	4.04	7.2	0.97	0.2	2.75	4.85	3.15	23/9/15	2628
8309	三井住友トラ	2959.5	25.2	0.73	3.71	-0.3	18.43	1.29	5.96	6.33	6.26	23/9/15	3061.5
5020	ENEOS	598.2	7.5	0.58	3.67	55.4	4.29	-1.28	2.22	2.76	4.83	23/9/15	642.3
8410	セブン銀	305	9.3	1.27	3.6	-11.8	0.79	-0.61	1.19	1.02	0.19	23/9/15	331.7
8591	オリックス	2856	9.9	0.87	3.29	8.9	3.1	0.73	4.55	5.28	4.87	23/9/15	2991
8012	長瀬産	2387	12	0.7	3.35	-10.8	3.05	0.35	3.38	3.49	1.24	23/9/7	2568.5
5411	JFE	2295	7.6	0.6	4.35	28.4	5.72	-0.27	2.39	4.24	4.4	23/9/4	2437
5803	フジクラ	1195	8	1.05	3.76	-17.5	12.11	0.33	6.6	7.55	4.49	23/8/14	1304.5
9076	セイノーHD	2149	22.4	0.83	4.42	-17.9	2.57	-0.13	0.27	0.98	0.94	23/8/2	2274
7240	NOK	1948	14.4	0.57	3.85	27.6	2.57	-0.02	1.21	2.21	0.53	23/8/2	2183
6952	カシオ	1281	21.2	1.33	3.51	2.2	2.65	0.65	3.28	3.14	2.94	23/1/27	1374

※指標は1/25時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

参考銘柄

4041 日本曹達

農薬や化学品が主力だが、商社機能も持つ。医薬品の添加剤や半導体フォトレジスト、二次電池材料などにも展開している。

24年3月期第2四半期(4~9月)業績は売上高が前年同期比14.7%減の689.0億円、営業利益が同28.0%減の64.5億円となった。今期からセグメント区分を変更しているが、前年同期比は前年同期のセグメントを組み替えた数字で比較している。主力のケミカルマテリアル(旧・化学品事業)は、連結子会社のAlkaline S.A.S社の連結除外の影響があったものの、原燃料価格の大幅な上昇に伴う販売価格改定を継続した結果、同25.9%減収、3.3%営業減益となった。アグリビジネス(旧・農業化学品事業)では殺菌剤の「ミギワ」、「ピロシク」、殺ダニ剤「ダニオーテ」の輸出向けが伸びたものの、殺菌剤「パンチョ」、「トップジンM」、殺虫剤「モスピラン」、殺ダニ剤「ニッソラン」の輸出向けが減少し、同20.7%減収、38.4%減益となった。トレーディング&ロジスティクス(旧・商社事業)では倉庫、運輸業は減少したものの、各種無機・有機薬品が伸び、同7.1%減収、4.4%減益となった。エンジニアリング(旧・建設事業)はプラント建設工事が増加し、同37.6%増収ながら、営業利益は同26.8%減益だった。

通期の見通しはケミカルマテリアルの販売減少やアグリビジネスの流通在庫増が響き、売上高で従来計画比70億円、営業利益で同じく9億円下方修正されたが、経常利益は一過性要因と為替の円安により同じく20億円上方修正された。

同社は今期から2025年度を最終年度とする3カ年中期経営計画「かがくで、かがやく。Stage II」をスタートしている。「高効率な事業構造への変革の中核ステージ」と位置づけ、2026年3月期当期純利益170億円(前期実績166.9億円)、ROE10%(同10.3%)、総還元性向50%以上で安定的な配当継続を目指す。さらに、2030年3月期までのStage IIIで純利益200億円以上、ROE12%を目指すとしている。PBR0.89倍、配当利回り4.17%。決算発表は2月9日予定。

決算説明会資料



参考銘柄

6436 アマノ

就業時間管理システムで国内最大手、海外でも高シェア。駐車場管理システムは世界展開を加速している。

24年3月期第2四半期(4~9月)業績は売上高が前年同期比16.1%増の701.6億円、営業利益が同43.0%増の80.1億円となった。時間情報システム事業では情報システムがハード、ソフト、クラウドともに堅調だったほか、時間管理機器は標準機が伸びる一方、タイムレコーダーが苦戦した。また、パーキングシステムは駐車場機器が回復したほか、メンテ・サプライも好調に推移した。セグメント収益は同17.5%増収、38.9%営業増益となった。環境システム事業は大型システムやメンテ・サプライが好調だったほか、クリーンシステムも清掃ロボットの増加で清掃機器が伸び、セグメント収益は同11.9%増収、16.5%営業増益となった。

通期計画は据え置かれているが、営業利益の中間期までの進捗率は45.2%で、前年同期の35.4%を上回っている。業績の拡大基調が高まっていることから、上振れの可能性があるだろう。また、今期から26年3月期まで、第9次中期計画「100年企業への4th Stage」をスタートしており、最終年度の売上高1600億円(今期計画1400億円)、営業利益210億円(同177億円)、OPR(営業利益率)13%、ROE(自己資本利益率)12%を目指している。成長ドライバーとなる事業の3本柱として、①情報システムのソフト・クラウド事業、②データセンターを核としたパーキングシステムのシステム提案・運営受託事業、③クリーンシステムのロボット+クラウド事業を掲げている。配当利回り3.56%。決算発表は2月1日予定。

決算説明会資料



(大谷 正之)

参考銘柄

4502 武田薬品

昨年 10 月に通期営業利益計画を期初の 3490 億円から 2250 億円に下方修正。主に、米国での販売を断念した「アロフィセル」(クローン病治療薬)と「EXKIVITY (モボセルチニブ)」(肺がん治療薬)に係る無形資産減損損失を上期に計上したことによるもの。ただし、成長製品、新製品は引き続き好調とし、本業に起因しない事象による影響を調整した Core 営業利益計画は当初公表の 1 兆 150 億円を据え置き、Core EPS については期初の 434 から 447 円に、売上高は 3 兆 8400 億円から 3 兆 9800 億円に上方修正した。期末配当は 94 円を予定(中間配当 94 円は実施済)。

新製品では、米国 FDA より、昨年 9 月に活動期潰瘍性大腸炎の維持療法として「ENTYVIO (エンタイビオ)」の皮下注射製剤、11 月に先天性血栓性血小板減少性紫斑病(cTTP)治療薬として「ADZYNMA (アドジンマ)」、転移性大腸癌の経口分子標的治療として「FRUZAQLA (フルザキニブ)」、今年 1 月には慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)の維持療法として「HYQVIA (ハイキュービア)」などの承認を取得した。

成長製品の一つとして、デング熱の予防ワクチン「QDENGGA (キューデンガ)」に期待したい。先行している仏サノフィ社のワクチンが未感染者の感染時に症状を悪化させる事例があることに比べ、現時点で重い副反応は確認されず、感染歴の有無にかかわらず接種できる利点があり、EU では接種前検査が不要として承認された唯一のデング熱ワクチンである。WHO は昨年 10 月、デング熱が大規模流行している地域において同ワクチンの 6~16 歳の子供への接種を推奨すると発表した。近年では、これまでデング熱の流行していなかった地域にも拡大して複数のアウトブレイクの同時発生が大幅に増加している。同社では今後 10 年以内に年 1 億回分を生産する体制を整える方針を示しており、医薬品の製造受託事業者を活用するほか、自社生産も強化し、ピーク時の売上高は 16 億ドル(約 2300 億円)から 20 億ドル(約 2900 億円)を見込むとしている。

デング熱 世界の状況 厚労省



HP より

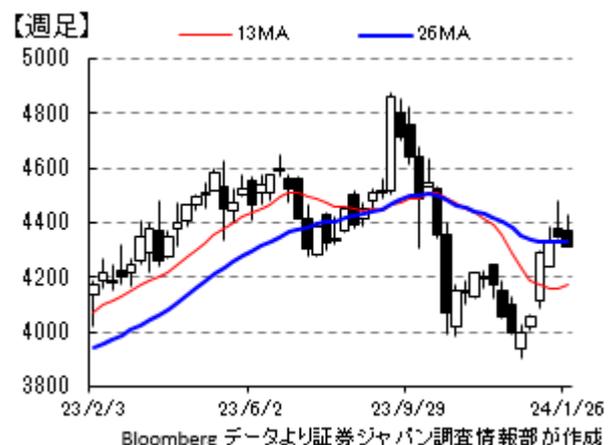
なお、株主還元策では、毎年の年間配当金を増額または維持する累進的な配当方針をコミットメントとして打ち出している。第3四半期決算発表予定日 2月1日。

【参考】1/26 終値 4310 円、予想配当利回り 4.36%、PBR 0.95 倍

成長と株主還元へのコミットメント



IR 資料



参考銘柄

7202 いすゞ

上期の売上高、利益は過去最高を計上。通期営業計画は期初から 200 億円増益の 2800 億円を見込む。株主還元策として、中期経営計画に基づき、最終年度の今期中に 500 億円を上限に自己株式取得を実施し、通期配当金を前回見通しから 6 円を増額して 86 円とし（中間配当 43 円実施済み）、合わせて 70.8%の総還元性向（3 年累計 51.8%）を行うことを明らかにしている。

下期は、CV（商用車）について、販売台数は国内・北米向けは部品不足改善により増加も、アジア・中南米を中心とした新興国は金利上昇・インフレ影響により減少を見込み、前回計画を下方修正。LCV（ピックアップトラックおよび派生車）は、輸出向けの需要動向は変わらないものの、注力しているタイ国内向けは市況の回復が見込めず台数を下方修正。下期の販売台数は減少するものの、価格対応の積み増し、資材費等が想定ほど上昇していないこと、円安影響により前回見通しから増益を見込むとした。

今年 4 月からトラックドライバーなどの時間外労働の上限規制が適用され、輸送能力の不足が懸念される物流の 2024 年問題への対応や、合わせてカーボンニュートラル社会の実現のため、2017 年に改定された普通自動車免許でも運転できる車両総重量 3.5t 未満の BEV（電動自動車）小型トラックの開発も進め、ラインアップを取り揃えている。BEV のリアボディは従来の基盤に合わせ、架装性や車両の操作系やレイアウトをディーゼル車と共通化しているため各種の架装にも対応でき、これまでの利便性を損なうことなく BEV の導入が可能。さらに、運行シミュレーションなどの BEV 導入検討のサポート、充電器設置・最適な充電スケジュールの提案、導入効果の定量化（CO2 削減量効果分析など）といった、車両に留まらないトータルソリューションプログラム「EVision（イービジョン）」の提供により、ハードとソフトの両面から最適な CN 戦略立案のサポートにも力を入れる。



elf mio EV

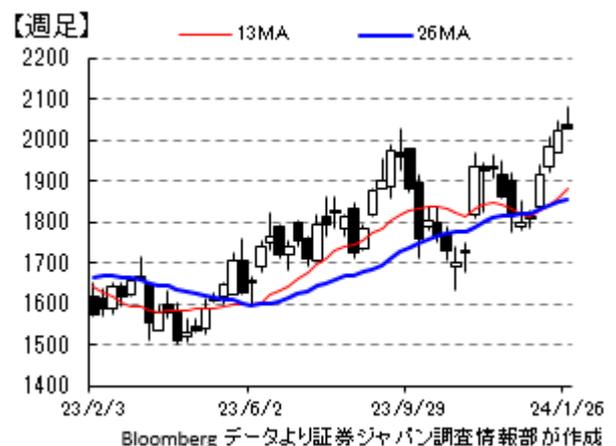
elf EV

HP より

第3四半期決算発表予定日 2 月 9 日。

【参考】1/26 終値 2030 円、予想配当利回り 4.23%、PBR1.08 倍

[IR 資料](#)



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

参考銘柄

7267 ホンダ

上期の営業利益は前年同期比 70.5%増の 6966 億円。高収益の二輪事業に加え、四輪事業は北米を中心に半導体の確保により生産台数を回復させ、競争力の高い新型車に注力して収益性を大きく改善した。業績の好調と前提為替の見直しにより、通期営業利益計画は前回の 1 兆円から 1 兆 2 千億円に上方修正された。前提為替は、1 ドルで下期 140 円、通期 140 円を想定。昨年 10 月、1 株につき 3 株に株式を分割。分割後の期末配当は 29 円を予定（分割前換算で通期 174 円）。

足元の動向では、四輪車は、昨年 12 月 27 日発表の自工会報告ベース生産・販売・輸出実績では、11 月の内外合計の生産は 3 カ月連続増の 41 万 4 千台（前年比 127%増）、特に米国における伸びが大きい。販売では、国内が 4 カ月連続増の 5 万 8 千台、日本からの輸出が 2 カ月連続増のおよそ 7 千台と大きく回復している。二輪車については、上期決算発表時に今後の見通しとして、地域別ではインドネシア、ブラジル、欧州では引き続き堅調を見込むものの、ベトナム、中国では景気減速による減少を見込み、トータルでは横這いとしていた。

1 月 22 日、四輪車の電動化やデジタル化に対応して生産・調達・品質の機能を強化するため、4 月 1 日付で三つの本部を新設すると発表。生産は生産統括部と生産技術統括部を統合した「四輪生産本部」を設置。事業本部や地域本部などと連携を深め、品質強化や生産体制の高度化を進めるとした。

今月、ラスベガスで開催された世界最大のテクノロジー見本市「CES2024」では、2026 年発売予定の新たな EV ブランド「Honda 0（ゼロ）シリーズ」を発表している。



第3四半期決算発表予定日 2 月 8 日。

【参考】1/26 終値 1583.5 円、予想配当利回り 3.66%、PBR 0.62 倍

[四輪車 生産・販売・輸出実績](#)



[IR 資料](#)



(東 瑞輝)

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

＜国内スケジュール＞

- 1月29日(月) 特になし
- 1月30日(火)
 - 12月有効求人倍率・労働力調査(8:30、厚労省)
- 1月31日(水)
 - 12月鉱工業生産・出荷・在庫(8:50、経産省)
 - 12月商業動態統計(8:50、経産省)
 - 1/22,23の日銀金融政策決定会合「主な意見」(8:50)
 - 1月消費動向調査(14:00、内閣府)
 - 12月住宅着工、建設受注(14:00、国交省)
- 2月1日(木)
 - 1月新車販売(14:00、自販連・全軽協)
- 2月2日(金)
 - 1月マネタリーベース(8:50、日銀)
- 2月5日(月) 特になし
- 2月6日(火)
 - 12月毎月勤労統計(8:30、厚労省)
 - 12月家計調査(8:30、総務省)
 - 12月消費動向指数(8:30、総務省)
- 2月7日(水)
 - 12月景気動向指数(14:00、内閣府)
 - 上場 SOLIZE<5871>東証スタンダード
- 2月8日(木)
 - 12月国際収支(8:50、財務省)
 - 1月景気ウォッチャー調査(14:00、内閣府)
 - 上場 Veritas In Silico<130A>東証グロース
- 2月9日(金)
 - オプションSQ算出日
 - 1月マネーストック(8:50、日銀)

＜国内決算＞

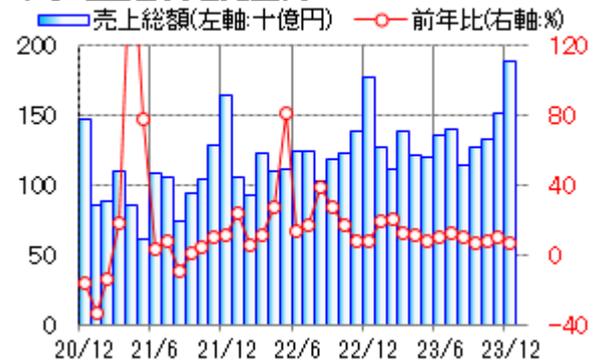
- 1月29日(月)
 - 12:00～ 【3Q】JPM<8697>
 - 15:00～ 【3Q】マクニカHD<3132>
 - 時間未定【3Q】住信SBI<7163>
- 1月30日(火)
 - 11:00～ 【3Q】大東建託<1878>
 - 15:00～ キヤノン<7751>
 - 【1Q】M&A 総研<9552>
 - 【3Q】日本 M&A<2127>、コマツ<6301>、ソシオネクスト<6526>、NEC<6701>、JR東海<9022>、大阪ガス<9532>
 - 16:00～ 【3Q】OLC<4661>
- 1月31日(水)
 - 12:00～ 【3Q】東洋水産<2875>、商船三井<9104>
 - 13:00～ 【3Q】塩野義<4507>、第一三共<4568>
 - 15:00～ 【1Q】サイバジェ<4751>
 - 【3Q】エムスリ<2413>、NRI<4307>、TOTO<5332>、LIXIL<5938>、日立<6501>、富士電機<6504>、マキタ<6586>、富士通<6702>、TDK<6762>、アドバンテス<6857>、新光電工<6967>、スクリン<7735>、野村<8604>、京成<9009>、JR東<9020>、JR西<9021>、ANA<9202>、中部電<9502>、東北電<9506>、カプコン<9697>

【参考】直近で発表された主な国内経済指標

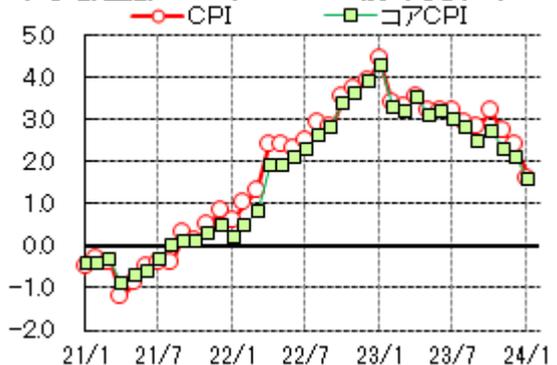
首都圏マンション販売



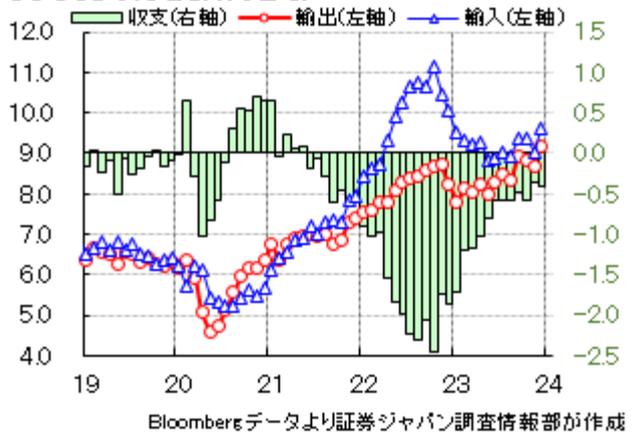
東京地区百貨店売上高



東京都区部 CPI、コアCPI 前年比(%)



貿易収支(季調済、兆円)



Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

- 16:00～ 【2Q】レーザーテック<6920>
 【3Q】小野薬<4528>、リそなHD<8308>、東電力HD<9501>、関西電<9503>
 17:00～ 【3Q】特殊陶<5334>
 時間未定【3Q】ZOZO<3092>、三住トラスト<8309>、

2月1日(木)

- 13:00～ 【3Q】HOYA<7741>
 15:00～ 【3Q】イビデン<4062>、武田<4502>、JVCKW<6632>、ローム<6963>、京セラ<6971>、三菱自<7211>、
 三井住友<8316>、コナミG<9766>
 16:00～ 【3Q】あおぞら<8304>
 17:00～ 中外薬<4519>

2月2日(金)

- 11:00～ 【3Q】豊田織<6201>、デンソー<6902>、丸紅<8002>
 12:00～ 【3Q】双日<2768>
 13:00～ 【3Q】アイシン<7259>、三井物<8031>
 14:00～ 【3Q】東京ガス<9531>
 15:00～ MonotaRO<3064>
 【3Q】ミツコシイセタン<3099>、住友化<4005>、ミネベアミツミ<6479>、パナソニック<6752>、
 村田製<6981>、みずほFG<8411>、川崎船<9107>、JAL<9201>、KDDI<9433>
 16:00～ 【3Q】キーエンス<6861>、豊田通商<8015>

2月5日(月)

- 12:00～ 【3Q】大林組<1802>、郵船<9101>
 13:00～ 【3Q】東ソー<4042>、伊藤忠<8001>
 14:00～ 【3Q】住友商<8053>
 15:00～ 【3Q】キッコーマン<2801>、JSR<4185>、アステラス薬<4503>、住友電<5802>、三菱電<6503>、ヤマトHD<9064>
 16:00～ 【3Q】オムロン<6645>、三菱UFJ<8306>

2月6日(火)

- 11:00～ 【3Q】カカクコム<2371>
 12:00～ 【3Q】エーザイ<4523>
 13:00～ 【3Q】三菱ケミカル<4188>、三菱重<7011>、トヨタ<7203>
 15:00～ 【3Q】味の素<2802>、JFE<5411>、ダイキン<6367>、サンケン<6707>、島津<7701>、任天堂<7974>
 16:00～ 【3Q】大阪チタ<5726>、ヤマハ<7951>
 時間未定【3Q】LINEヤフー<4689>、三菱商<8058>

2月7日(水)

- 12:00～ 【3Q】旭化成<3407>
 13:00～ 【3Q】三井化学<4183>、岩谷産<8088>
 15:00～ 協和キリン<4151>、花王<4452>、AGC<5201>、ユニチャーム<8113>
 【3Q】テルモ<4543>、日本製鉄<5401>、太陽誘電<6976>、スズキ<7269>、オリックス<8591>、
 ソフトバンク<9434>、レノバ<9519>、NTTデータG<9613>

2月8日(木)

- 12:00～ 【3Q】東レ<3402>
 13:00～ 【3Q】清水建<1803>、SUBARU<7270>
 14:00～ 【3Q】大成建<1801>、明治HD<2269>、NTT<9432>
 15:00～ マクドナルド<2702>、ネクソン<3659>
 【3Q】富士フイルム<4901>、住友鋳<5713>、芝浦<6590>、ホンダ<7267>、ニコン<7731>、ニトリHD<9843>、
 ソフトバンクG<9984>
 16:00～ 【3Q】ダイフク<6383>、日産自<7201>
 17:00～ ルネサス<6723>

2月9日(金)

- 11:00～ 【3Q】セガサミーHD<6460>、川重<7012>
 13:00～ 【3Q】ENEOS<5020>
 14:00～ 【3Q】大和ハウス<1925>、ヤクルト<2267>
 15:00～ 資生堂<4911>、アシックス<7936>
 【3Q】神戸鋼<5406>、リクルートHD<6098>、シスメックス<6869>、IHI<7013>、ゼンショーHD<7550>、
 大日印<7912>、東エレク<8035>、三菱HCキャ<8593>、三井不<8801>、菱地所<8802>、住友不<8830>、東急<9005>

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

＜海外スケジュール・現地時間＞

- 1月30日(火)
 - FOMC(～31日、FRB)
 - 欧 10～12月期ユーロ圏GDP
 - 米 11月S&Pケース・シラー住宅価格
- 1月31日(水)
 - FOMC最終日、パウエルFRB議長会見
 - 独 10～12月期GDP
 - 独 1月消費者物価
 - 米 10～12月期雇用コスト指数
 - 米 1月シカゴ景況指数
 - マレーシア新国王の即位式
- 2月1日(木)
 - 中 1月財新・製造業PMI
 - 欧 1月ユーロ圏消費者物価
 - 米 1月ISM製造業PMI
 - 米 1月新車販売
 - OPECプラス合同閣僚監視委(オンライン)
 - 休場 マレーシア(連邦区記念日)
- 2月2日(金)
 - 米 1月雇用統計
 - 米 12月製造業受注
- 2月3日(土)
 - 米大統領選で民主党サウスカロライナ州予備選
- 2月5日(月)
 - 中 1月財新・サービス業PMI
 - 米 1月ISMサービス業PMI
 - 休場 メキシコ(憲法記念日)、パキスタン(カミールデー)
- 2月6日(火)
 - 欧 12月ユーロ圏小売売上高
 - 休場 ニュージーランド(ワイタング条約記念日)
- 2月7日(水)
 - 米 12月貿易収支
 - 米 12月消費者信用残高
- 2月8日(木)
 - 中 1月消費者物価、卸売物価
 - 米 12月卸売売上高
 - 休場 台湾、ベトナム(旧正月)、インドネシア(ムハムド)
- 2月9日(金)
 - 休場 中国、台湾、韓国、インドネシア、ベトナム(旧正月)

＜海外決算＞

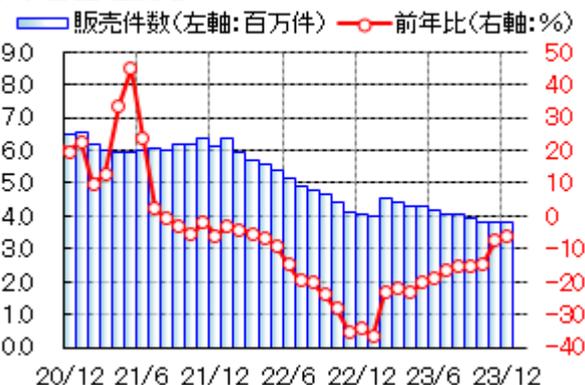
- 1月30日(火)
 - ファイザー、コーニング、アルファベット、エレクトロニック・アーツ、GM、AMD、スターバックス、マイクロソフト
- 1月31日(水)
 - サーモ・フィッシャー、ボーイング、ナスダック、キャタピラー、アライン・テクノロジー、コルテバ、クアルコム、ロックウェル
- 2月1日(木)
 - ボール、ハネウェル、メルク、メタ、アップル、アマゾン
- 2月2日(金)
 - エクソンモービル、シェブロン
- 2月5日(月)
 - エスティ・ローダー、マクドナルド、バランティア
- 2月6日(火)
 - イーライリリー、スポティファイ、チェック・ポイント、ピンタレスト、アムジェン、ギリアド、エンフェーズ・エナジー、コグニザント
- 2月7日(水)
 - アーム、ディズニー、ペイパル、アンダー・アーマー、ウーバー、カプリ
- 2月8日(木)
 - イルミナ、エクスペディア、アフアーム

【参考】直近で発表された主な海外経済指標

シンガポール消費者信頼感指数(速報含む) 1966年=100



米中古住宅販売



独IFO景況感指数

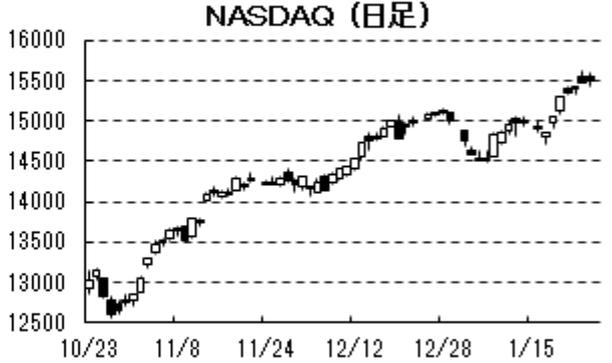
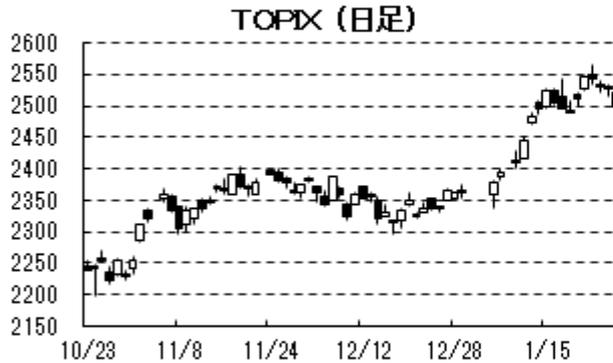


Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成

(東 瑞輝)

各種指数の推移 (Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成)

1/26 15:25 現在



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

投資にあたっての注意事項

【重要開示事項】

- 本資料は、株式会社証券ジャパン（以下「証券ジャパン」といいます。）調査情報部が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 執筆アナリストは、本資料におけるレポート対象企業の有価証券を保有しておらず、重大な利益相反関係にありません。
- 本資料は証券ジャパンが信頼できると考える情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性および完全性について証券ジャパンが保証するものではありません。
- 本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、証券ジャパンは、理由の如何を問わず責任を負いません。
- 本資料に記載された証券ジャパンの意見ならびに予測は、資料作成時点での証券ジャパンの見通しであり今後予告なしに証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツおよび体裁等も証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。2024年1月26日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。
- 掲載した企業について株価の下落や発行者の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込むおそれがあります。銘柄の選択、投資に関する最終決定はお客様自身の判断でなされるようお願いいたします。
- 本資料は証券ジャパンの著作物であり、著作権法によって保護されております。証券ジャパンの事前の承認なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行所住所等 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
編集発行責任者 増田 克実
商号等 株式会社証券ジャパン
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

コンプライアンス推進部審査済 2024年1月26日

【手数料等及びリスクについて】

各商品等へのご投資には、所定の手数料等（株式取引の場合は約定代金に対して最大 1.210%（227,273 円以下の場合は 2,750 円）（税込））の委託手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただきます。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書（目論見書補完書面を含みます）等、お客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項等】

- 本資料は、株式会社証券ジャパン（以下「証券ジャパン」といいます。）調査情報部が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したアナリスト・レポートであり、当社は、同社との契約に基づき、お客さまへの情報提供を目的として使用するものです。
- また、本資料におけるレポート対象企業の選定も証券ジャパン独自の判断で行っており、当社が対象企業を指定して本資料の作成を依頼したものではありません。
- 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて証券ジャパンが作成したのですが、当社は、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、当社及び証券ジャパンは理由の如何を問わず責任を負いません。
- 本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。株式・債券等の有価証券の投資には、株価・債券価格等の有価証券価格の下落や発行者の信用状況などの悪化等により、投資元本を割り込むおそれがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、本資料はお客様ご自身のためののみ、お客様限りで利用下さい。なお、当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

住所等 〒680-0841 鳥取県鳥取市吉方温泉 3 丁目 101 番地
商号等 大山日ノ丸証券株式会社
金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第5号
加入協会 日本証券業協会

留意事項

この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。